

## 福岡県におけるセンタウミアメンボとツヤウミアメンボの採集記録

中島 淳<sup>1)</sup>・浅野 海翔<sup>2)</sup>・川野 凜<sup>2)</sup>・松尾 耕太郎<sup>2)</sup>・船迫 笑子<sup>2)</sup>・阿波連 憲子<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>福岡県保健環境研究所, 〒818-0135 福岡県太宰府市向佐野 39

<sup>2)</sup>つやざき海辺の自然学校 うみっ子くらぶ, 〒811-3304 福岡県福津市津屋崎 4-41-19

### Record of *Halobates germanus* and *H. micans* in Fukuoka Prefecture, northern Kyushu Island, Japan

Jun NAKAJIMA<sup>1)</sup>, Kaito ASANO<sup>2)</sup>, Rin KAWANO<sup>2)</sup>, Kotaro MATSUO<sup>2)</sup>,  
Emiko FUNASAKO<sup>2)</sup> and Noriko AHAREN<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>Fukuoka Institute of Health and Environmental Sciences, Mukaizano 39, Dazaifu, Fukuoka Pref., 818-0135 Japan

<sup>2)</sup>Tsuyazaki Nature School Umikko Club, Tsuyazaki 4-41-19, Fukutsu, Fukuoka Pref., 811-3304 Japan

**Abstract** The sea skaters, *Halobates germanus* and *H. micans*, were collected from the two beaches of Fukuoka Prefecture, Kyushu Island, Japan. These two beaches are on the Sea of Japan. This is the first record from the northern coast of Kyushu Island.

**Key words** : Water strider, Gerridae, Sea of Japan, Beach, Stranded creature

キーワード : アメンボ, アメンボ科, 日本海, 砂浜, 打ち上げ生物

海洋性のアメンボ類は日本近海から 6 種が知られ, そのうち 3 種は外洋性である (宮本, 1961). 外洋性の種類は沿岸部から離れた海域で生活しているため (Ikawa *et al.*, 2002, 2004), いずれも一般的に採集が困難であることが知られている (盛口, 2007; 端山, 2009). 今回, 著者らはこれまで外洋性ウミアメンボ類の打ち上げ採集の記録がないと思われる九州北部日本海側の海岸において, センタウミアメンボ *Halobates germanus* (White) とツヤウミアメンボ *H. micans* Eschscholtz を採集したので, ここに報告する. なお種の同定は宮本 (1961) に従い, 標本はすべて著者の一人中島が保管している.

1. センタウミアメンボ, 1♂1♀ (図 1A), 福岡県

糸島郡志摩町野北 (図 2A), 26.X.2010. 中島採集

2. ツヤウミアメンボ, 1♂ (図 1B), 福岡県福津市津屋崎 (図 2B), 3.XI.2010. 浅野採集

採集地は日本海に面した砂浜海岸で, それぞれの地点は直線距離で約 35 km 離れている (図 2). 両海岸ともに北西を向いており, 直接外海からの波が打ち寄せる砂浜海岸である. センタウミアメンボは 10 月 26 日の午前 7 時頃に採集したものであり, 採集時には小雨の降る中強い風が海岸に吹き付けていた. 採集個体は砂浜に出来た窪みの中で発見したもので, 採集時は 2 個体とも生きている状態であった. 30 分ほど探索を行ったものの, 採集した 2 個体以外は発見できなかった. また,

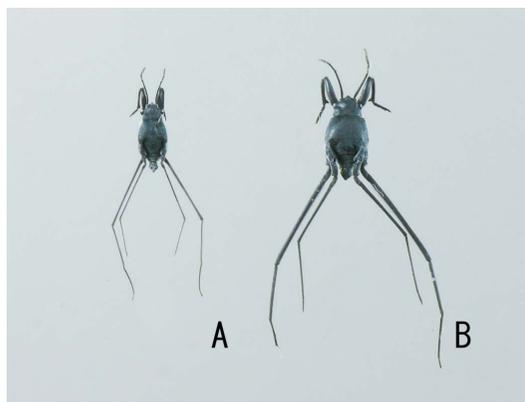


図1 今回採集したセンタウミアメンボ (A) とツヤウミアメンボ (B)

ツヤウミアメンボは11月3日の午後1時頃に採集したものであり、採集時は穏やかな晴れの日であった。採集個体は砂浜上に落ちていたもので、採集時には生きており跳ねるなどしていた。30分ほど探索を行ったものの、その他の個体を発見することはできなかった。

遠洋性のウミアメンボ類は一般的に採集が難しいとされているが、台風襲来時などの海が荒れた後に海岸に打ち上がることが古くから知られている(岡野, 1942; 宮本, 1961; 盛口, 2007)。特に日本海沿岸ではその年に初めて冬型の気圧配置になった当日に、季節風を正面から受ける海岸に高い確率で打ち上がる可能性が示唆されている(端山, 2009)。今回の採集例のうち、センタウミアメンボを採集した10月26日朝は冬型の気圧配置となった初日であり、最低気温は15度前後とあまり下がらなかったものの、北～北北西の5-11 m/sの強風が吹いていた(気象庁, 2010)。したがって、端山(2009)の記述と一致する状況である。

しかしながら、ツヤウミアメンボを採集した11月3日は穏やかな晴れの日であり、前日から南～北西の1-3 m/sの弱い風しか吹いていない状況であった(気象庁, 2010)。採集個体は生きており、当日もしくは前日に打ち上がった個体であると考えられるので、このような気象条件で発見された例は珍しい。このような日に打ち上がった理由については不明な点が多いが、当日朝の最低気温がこの年の福岡県日本海側地域でもっとも低い8.2℃

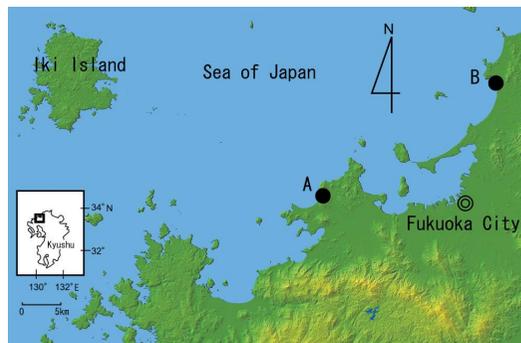


図2 センタウミアメンボが採集された地点 (A) とツヤウミアメンボが採集された地点 (B)

であったことや(気象庁, 2010)、この海岸が外洋性生物の打ち上がりやすい立地条件であること(Tabeta, 1972)、などが関係しているかもしれない。今後も調査を続け、九州の日本海側海岸において外洋性ウミアメンボ類が打ち上がる気象条件について、知見を積み重ねていきたい。

**謝辞:** 末筆ながら本種の採集法についてご助言いただいた林 成多博士(ホシザキグリーン財団)にこの場を借りて厚くお礼申し上げる。

## 文 献

- 端山 武(2009) 島根県出雲市の外圍海岸に漂着するセンタウミアメンボ. ホシザキグリーン財団研究報告, (12): 147-148.
- Ikawa, T., H. Okabe, S. Hoshizaki, Y. Suzuki, T. Fuchi and L. Cheng (2002) Species composition and distribution of ocean skaters *Halobates* (Hemiptera: Gerridae) in the western Pacific Ocean. *Entomological Science*, **5**: 1-6.
- Ikawa, T., H. Okabe, S. Hoshizaki, T. Kamisako and L. Cheng (2004) Distribution of the oceanic insects *Halobates* (Hemiptera: Gerridae) off the south coast of Japan. *Entomological Science*, **7**: 351-357.
- 気象庁(2010) 気象統計情報. <http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>
- 岡野喜久磨(1942) 日本における *Halobates sericeus* Escholtz について. 科学, **12**(10): 379.

宮本正一 (1961) 「日本昆虫分類図説 第1集第3部 半翅目・アメンボ科」39p. 北隆館, 東京.

盛口 満 (2007) 「ゲッチョ昆虫記—新種はこうして見つけよう」213p. どうぶつ社, 東京.

Tabeta, O. (1972) An ecological study on the fishes stranded upon the beach of northern Kyushu. *Journal of Shimonoseki University of Fishery*, **21**: 81-151.